

みどりの奨励賞受賞《牛道小学校みどりの少年団》

平成23年度全国緑の少年団活動発表において、郡上市白鳥町の牛道小学校みどりの少年団が最優秀の「みどりの奨励賞」を受賞しました。

現在、全国では3,829団、約33万人の緑の少年団の子供たちが活動しており、これらの活動状況や成果を発表するため、毎年、「全国緑の少年団活動発表」（書類審査）が行われています。

今年度、牛道小学校みどりの少年団が、利府町みどりの少年団（宮城県）、ガールスカウト富士吉田緑の少女隊（山梨県）、知多すみどりの少年団（愛知県）、王寺小学校みどりの少年団（奈良県）とともに「みどりの奨励賞」に選ばれました。



みどりの奨励賞に選ばれた5少年団のみなさん



国土緑化推進機構副理事長挨拶



発表する牛道小みどりの少年団



審査委員長の講評

11月19日（土）、橿原文化会館（奈良県橿原市）で「第35回全国育樹祭」の併催行事として開催された「全国緑の少年団活動発表大会」において、牛道小学校みどりの少年団は「ふるさと白尾の森に学び、愛し、守る活動～地域の方とともに～」と題して、北山涼太君と大原葉那さんが、身近にある樹木の調査・観察、植樹活動や林業体験、白尾登山での森林観察、山と川と海のつながりを学ぶ三重県の片田小学校との交流など、ふるさとの森に学び、森を愛し、森を守る活動について元気に発表しました。会場へは、共に活動し成果をまとめた5年生、6年生のみどりの少年団の子供たちも応援に駆けつけました。



奈良市の平城宮跡で行われた全国育樹祭



育樹祭会場で代表受領の牛道小みどりの少年団

この発表大会で牛道小学校みどりの少年団は、翌日、皇太子殿下のご臨席を仰ぎ開催された「第35回全国育樹祭」における「みどりの奨励賞代表受領」に選ばれ、河内翔太郎君と北山涼太君が全国育樹祭大会会長の平田健二参議院議長から賞状並びに記念品の贈呈を受けました。